

令和 7 年度の検討項目について

令和 7 年度 危険物施設のスマート保安等に係る調査検討会
(第 1 回)

消防庁危険物保安室

令和7年度の検討項目について

検討の背景

我が国の危険物既設は高経年化が進み、腐食・劣化等を原因とする事故件数が増加するなど、近年、危険物等に係る事故は高い水準で推移している。他方で、昨今、各分野において**技術革新やデジタル化が急速に進展**しており、危険物施設においても安全性、効率性を高める**新技術の導入により効果的な予防保全を行うことなど、スマート保安の実現**が期待されている。この状況を踏まえ、今後における**危険物施設のスマート保安化等に柔軟な対応ができるよう調査検討を行うことを目的として、「危険物施設におけるスマート保安等に係る調査検討会」**を開催している。

令和7年度検討項目

- 1 「可燃性蒸気の滞留するおそれのある場所」の明確化について
- 2 危険物施設における泡消火設備の見直しについて
- 3 その他